

# 株主通信

第54期 決算のご報告  
2011年4月1日から2012年3月31日まで



株式会社 **丸順**

## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第54期決算（2011年4月1日から2012年3月31日まで）を終了いたしましたので、ご報告を申し上げます。

おかげ様で当社は、7月1日に創業60周年を迎えることとなりました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年 6月

取締役社長

今川喜章

### 連結業績の概況

当連結会計年度における世界経済は、先進国においては欧州債務問題を背景に経済復調の停滞が長期化しているほか、新興国においては好調だった経済成長にも陰りが見え始め、牽引力が鈍化するなど、全体で堅調を維持しながらも景気失速のリスクを抱えた状況で推移いたしました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、2011年3月に発生した東日本大震災及び10月にタイにおいて発生した大規模洪水などの自然災害が、業界のサプライチェーン全体に大きな影響を与えました。また、円高の進行や国内自動車市場の消費冷え込みなどにより、企業を取り巻く経営環境は厳しい状況が継続しており、これらの課題に対処する新しい戦略が求められております。

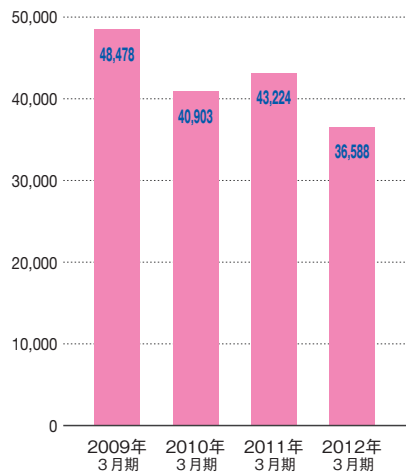
このような状況のもと、当社グループは、売上高、利益ともに前年度の水準を大きく下回る中で、生産体質の改善と固定費の削減を進め、経営体質のスリム化を図ることで、外的環境に影響されない「ボトム経営体質の構築」に注力してまいりました。また、「生産に関わる品質の向上や安全性の確保」、「強みとなるコア技術の深化」といったグローバル企業としての基盤構築にも取り組んでまいりました。

さらに、2011年12月には、当社の主要取引先である本田技研工業株式会社の連結子会社である「American Honda Motor Co., Inc.」との間で、同社が所有し、米国インディアナ州に所在する「TOMASCO Indiana Corporation」(2012年6月14日付で商号を「Indiana Marujun Corporation」に変更)の株式取得に関して予備的基本合意を締結するなど、北米地域での事業領域の拡大に向け、積極的に取り組んでまいりました。

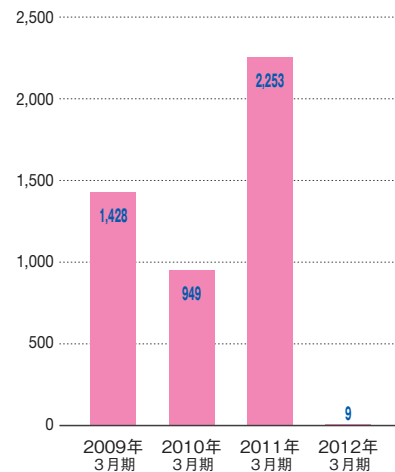
しかしながら、東日本大震災による日本、タイ及び広州における減産及びタイ洪水被害の結果、当連結会計年度の売上高は36,588百万円（前年同期比15.4%減）、営業利益は9百万円（前年同期比99.6%減）、経常損失は345百万円（前年同期は1,827百万円の経常利益）、当期純損失は1,122百万円（前年同期は683百万円の当期純利益）となりました。

# 連結決算ハイライト

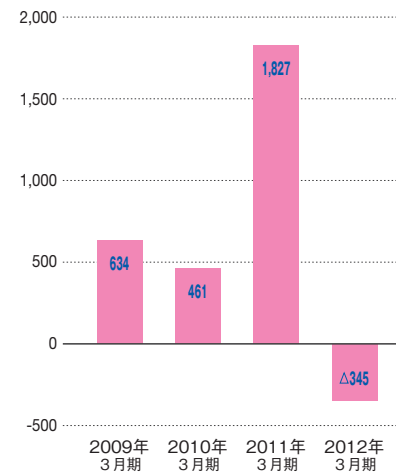
● 売上高 (単位: 百万円)



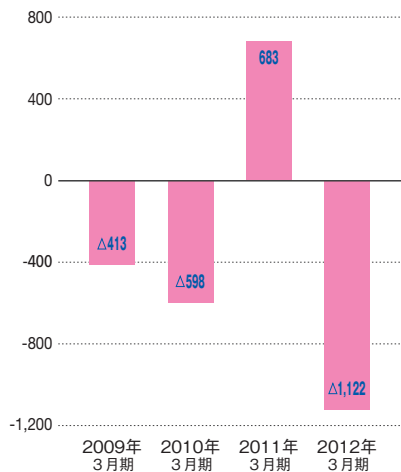
● 営業利益 (単位: 百万円)



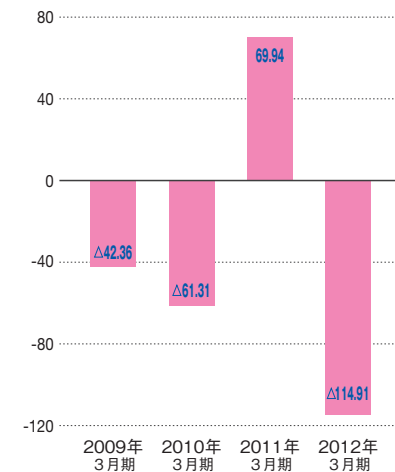
● 経常利益 (単位: 百万円)



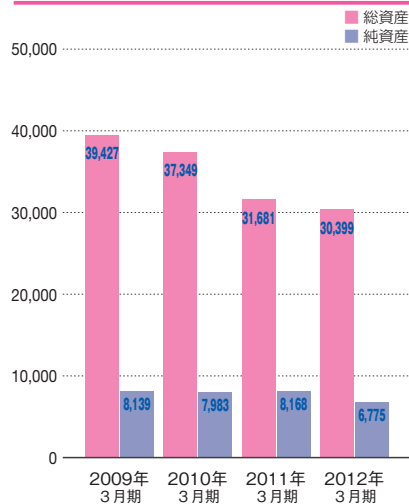
● 当期純利益 (単位: 百万円)



● 1株当たり当期純利益 (単位: 円)



● 総資産・純資産 (単位: 百万円)



# 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期末	前期末
	2012年3月31日現在	2011年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>10,802</b>	<b>9,590</b>
現金及び預金	2,202	595
受取手形及び売掛金	5,785	5,926
商品及び製品	330	332
仕掛品	997	1,312
原材料及び貯蔵品	490	618
繰延税金資産	138	24
その他	858	784
貸倒引当金	△1	△4
<b>固定資産</b>	<b>19,596</b>	<b>22,090</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>17,461</b>	<b>19,655</b>
建物及び構築物	4,861	5,358
機械装置及び運搬具	4,055	5,076
工具、器具及び備品	3,606	4,721
土地	1,882	1,913
リース資産	859	1,175
建設仮勘定	2,195	1,410
<b>無形固定資産</b>	<b>111</b>	<b>128</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,023</b>	<b>2,307</b>
投資有価証券	1,530	1,619
繰延税金資産	175	367
その他	334	336
貸倒引当金	△17	△17
<b>資産合計</b>	<b>30,399</b>	<b>31,681</b>

(単位：百万円)

科 目	当期末	前期末
	2012年3月31日現在	2011年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>15,230</b>	<b>14,976</b>
支払手形及び買掛金	5,554	5,357
短期借入金	7,449	7,583
リース債務	331	373
未払法人税等	79	149
賞与引当金	206	231
その他	1,609	1,280
<b>固定負債</b>	<b>8,394</b>	<b>8,535</b>
長期借入金	6,704	6,526
リース債務	292	642
繰延税金負債	340	388
退職給付引当金	856	756
役員退職慰労引当金	—	89
資産除去債務	82	80
負ののれん	16	26
その他	101	25
<b>負債合計</b>	<b>23,624</b>	<b>23,512</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>5,192</b>	<b>6,334</b>
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	3,221	4,363
自己株式	△2	△2
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△755</b>	<b>△745</b>
その他有価証券評価差額金	514	402
為替換算調整勘定	△1,270	△1,147
<b>少数株主持分</b>	<b>2,338</b>	<b>2,579</b>
<b>純資産合計</b>	<b>6,775</b>	<b>8,168</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>30,399</b>	<b>31,681</b>

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期	前期
	2011年4月1日から 2012年3月31日まで	2010年4月1日から 2011年3月31日まで
売 上 高	36,588	43,224
売 上 原 価	33,055	37,375
売 上 総 利 益	3,533	5,848
販売費及び一般管理費	3,523	3,594
営 業 利 益	9	2,253
営 業 外 収 益	166	88
営 業 外 費 用	522	514
経常利益・損失（△）	△345	1,827
特 別 利 益	542	29
特 別 損 失	1,197	415
税金等調整前 当期純利益・損失（△）	△1,000	1,442
法人税、住民税及び事業税	193	474
法 人 税 等 調 整 額	54	△119
少数株主損益調整前 当期純利益・損失（△）	△1,249	1,088
少数株主利益・損失（△）	△126	404
当期純利益・損失（△）	△1,122	683

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期	前期
	2011年4月1日から 2012年3月31日まで	2010年4月1日から 2011年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	4,677	6,360
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,888	△2,514
財務活動による キャッシュ・フロー	△161	△4,891
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△21	△13
現金及び現金同等物の 増 減 額	1,606	△1,058
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	595	1,654
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	2,202	595

## セグメント別概況

※セグメント別の業績は、セグメント間の取引金額を含めて記載しております。

### ■ 丸 順（株式会社丸順） 構成比 44.1%

丸順においては、当社のメイン商品である車体プレス部品では、東日本大震災及びタイの洪水が主要取引先の生産に影響を与え、当社の業績は低迷いたしました。金型では、新機種用設備の販売が増加するなど、好調に推移いたしました。

この結果、売上高は16,920百万円（前年同期比2.4%減）、経常利益は68百万円（前年同期比57.7%減）となりました。

### ■ タ イ（タイ・マルジュン社） 構成比 15.7%

タイにおいては、自動車市場の成長やアジア周辺諸国向けの輸出の増加など、自動車産業は堅調に推移しておりましたが、2011年10月に起こった大規模洪水により当社及び主要取引先工場が被災したため生産が停滞し、大きく減産する状況となりました。

この結果、売上高は6,025百万円（前年同期比36.5%減）、経常損失は693百万円（前年同期は262百万円の経常利益）となりました。

### ■ 広 州（広州丸順汽车配件有限公司） 構成比 23.5%

広州においては、中国国内における自動車需要の拡大は底堅いものの、東日本大震災による部品調達難が主要取引先の生産に影響を与えたほか、競争の激化による原価低減要求や人件費の高騰など取組むべき課題は多く、全体で厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は9,033百万円（前年同期比25.1%減）、経常利益は224百万円（前年同期比81.7%減）となりました。

### ■ 武 漢（武漢丸順汽车配件有限公司） 構成比 10.5%

武漢においては、中国国内における自動車需要の拡大は底堅く、また東日本大震災の影響も軽微で済むなど、生産は前年度と同等程度で推移したものの、新機種立ち上がり費用の増加などにより、収益は減少いたしました。

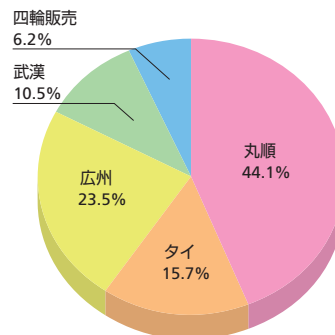
この結果、売上高は4,014百万円（前年同期比0.0%減）、経常利益は141百万円（前年同期比37.5%減）となりました。

### ■ 四輪販売（株式会社ホンダ四輪販売丸順） 構成比 6.2%

四輪販売においては、年度末にかけて、新たな需要喚起施策として政府のエコカー補助金制度が2010年度に引き続き実施され、一定の効果はあったものの、東日本大震災の影響や自動車市場の需要低迷により自動車販売台数が減少したため、業績は厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は2,386百万円（前年同期比11.1%減）、経常利益は41百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

● セグメント別売上高構成比



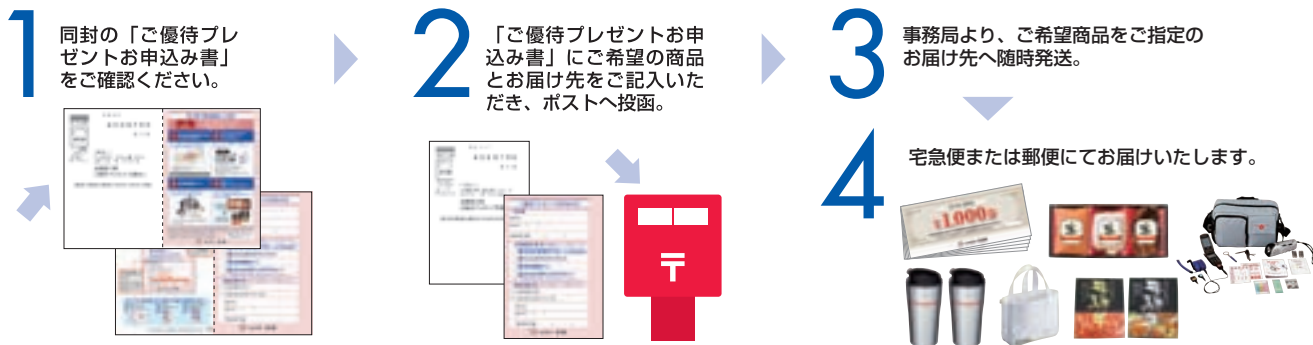
# 株主様ご優待制度のご案内

締切  
2012年  
9月30日まで

**ご 対 象** 当社株式1千株以上をご所有されている国内の株主様  
**お申込み方法** 同封の「ご優待プレゼントお申込み書」に必要事項をご記入の上投函して下さい。  
**ご応募締切り** 2012年9月30日消印有効  
**ご優待内容** 下記4点の商品からお好きな商品をお選びいただけます。

<p><b>1 株主様ご優待券 5千円分</b> (1,000円券5枚綴り)</p> <p>オイル交換、車検、新車、中古車購入時等に金券としてご利用いただけます。</p>  <p>株主様ご優待券のお取り扱いについて ●本券は「ホンダカーズ大垣」「ホンダオートテラス大垣」の各店でご利用いただけます。</p> <p>有効期限: 2012年7月1日～2013年6月30日まで</p>	<p><b>2 Hondaおでかけグッズセット</b></p> <p>カフェタンブラー2個とバッグ1個をセットにしてプレゼント!</p>  <p>[Honda Racingカフェタンブラー] 素材:PP、AS樹脂、シリコン樹脂、発泡合成ゴム ●サイズ:約高さ1181mm×直径78mm [ASIMO エナメルバッグ] 素材:表地=ポリエステル100%エナメルコーティング ●サイズ:約高さ210mm×幅250mm×マチ110mm ※持ち手除く</p>	<p><b>3 非常用避難セット</b></p> <p>玄関や寝室に置いていても美観を損ねないショルダーバッグの避難セットです。</p>  <p>持出/バックラジオ付ライト(電池付)・携帯電話充電器 ホイッスル・マルチナイフ・救急セット・ゾーニングセット・防災心得手帳(日本)</p>	<p><b>4 岐阜の逸品 吉田ハム おすすめセット</b></p> <p>1935年 岐阜県大垣市で創業。 “おいしさ”と“食の安心・安全”を追求している吉田ハムのお薦め!</p>  <p>・スモークピアソー ・タレ入り煮豚 ・ホワイトボンレス(各250g)</p> <p>+</p> <p>・飛騨牛ビーフカレー ・飛騨牛ビーフシュー (各220g×1個)</p>
---	--	--	--

## ～ご優待プレゼントお申込みの流れ～



(丸順株主様 ご優待プレゼント事務局) 〒450-0003 名古屋市守山区名駅南1-19-13 AEビル4F 株式会社リクエスト内 TEL.052-561-5490 平日9:30～17:00



株式会社 丸順

## トピックス

### N BOX発売



N BOXの当社生産部品

2011年12月、軽自動車「N BOX／N BOXカスタム」が発売されました。同車は広々とした室内空間と環境に優しい運転をサポートするECONモード等を搭載しており、乗り心地と使いやすさを追求しております。

当社子会社の株式会社ホンダ四輪販売丸順では、2012年3月度の単月販売台数が過去最高となり、消費者の皆様からも大変好評を得ております。

また、当社は、同車において骨格部品を中心に18部品を受注しております。

### タイ・マルジュン社 生産を全面再開

タイ・マルジュン社が、2011年秋のタイの大洪水で被災した工場の生産を全面再開いたしました。同社は、タイ中部アユタヤ県の工業団地の一角にあり、大雨で氾濫したチャオプラヤ川などの浸水に見舞われ、最大で約4メートル浸水し、2011年10月4日から操業を停止いたしました。日本や中国などで一部を代替生産しながら工場内の排水作業や機械・電気設備の復旧を進め、2月下旬に操業を一部再開いたしました。3月には、当社グループ従業員及び取引先関係会社様立会いのもと、工場内の設備状況、製品の品質及び安全性において今後問題がないことを確認いたしました。

今後は、洪水リスクを最小限に抑えるための仕組み及び体制の構築に取り組み、更なる生産体質の向上に向けて努めてまいります。



メインオフィス前



汎用タンク生産の様子



## ウェブサイトリニューアル

当社は、2012年6月にウェブサイトのリニューアルをいたしました。今回のリニューアルでは、より見やすく、より使いやすいものとなるよう見直すとともに、「社会・環境への取組み」を新設いたしました。また、「テクノロジー」や「製品紹介」、「株主・投資家情報」のコンテンツも充実を図り、当社をわかりやすくお伝えすることができるようにしました。

今後は、新しい情報をタイムリーにお届けいたしますので、新しいウェブサイトをぜひご覧ください。



ウェブサイトTOPページ

**ウェブサイトアドレス <http://www.marujun.co.jp/>**

## インディアナ・マルジュン社子会社化

当社は、2012年6月に本田技研工業株式会社の米国子会社が保有するTOMASCO Indiana Corporation（以下、トマスコ・インディアナ社という）の発行済み株式の70%を取得し、子会社化いたしました。この結果、当社がこれまでに保有していた10%と合わせて持ち株比率は80%となりました。また、社名をIndiana Marujun Corporation（以下、インディアナ・マルジュン社という）に変更いたしました。

トマスコ・インディアナ社は、1999年3月に設立され、インディアナ州ウィンチェスターに位置しており、米国内において自動車車体プレス部品の製造、販売事業を展開しております。

新体制となったインディアナ・マルジュン社では、丸順フィロソフィやポリシーの浸透をはかり、新しい社風の創造と早期の自主自立経営に取り組んでまいります。

当社グループは、北米市場への進出により、グローバル事業基盤と更なる収益力の向上を目指し、より高度なマネジメントシステムの構築に努めてまいります。



インディアナ・マルジュン社

# 会社概要 (2012年3月31日現在)

商号	株式会社 丸順 (英文社名：MARUJUN CO., LTD.)
創業	昭和27年7月 (創業者・最高顧問 今川 順夫)
設立	昭和35年1月
資本金	10億3,755万円
事業内容	自動車用車体プレス部品の製造 自動車用精密プレス部品の製造 各種金型の設計・製作 治具・検査具の設計・製作 自動車の販売・サービス
従業員数	553名(連結3,209名)

## 役員 (2012年6月22日現在)

代表取締役社長	今川 喜章
取締役副社長	小高 光一
取締役	森 源夫
取締役	奥田 崇雄
取締役	磯久 毅
取締役	高塚 雅彦
取締役	猪熊 篤俊
取締役	齊藤 浩
常勤監査役	西部 隆雄
監査役	片岡 信恒
監査役	岡田 正市
執行役員	渡辺 敦
執行役員	松井 恒夫

(注) 常勤監査役 西部隆雄氏、監査役 片岡信恒氏は、社外監査役であります。

## 国内拠点

本社(丸順新田GICビル)	岐阜県大垣市新田町2-1234
浅西工場	岐阜県大垣市浅西3-22-22
上石津工場	岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1
ユーテック工場	岐阜県大垣市浅西3-75
養老工場	岐阜県大垣市上石津町牧田2947-1
栃木開発センター	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台198-5

## 国内子会社

株式会社ホンダ四輪販売丸順	岐阜県大垣市新田町2-1234
---------------	-----------------

## 海外子会社、主な出資会社 (2012年6月22日現在)

### 〔海外子会社〕

タイ・マルジュン社	SAHA RATTANA NAKORN INDUSTRIAL ESTATE, 117 MOO-4, BANGPHRAKRU, NAKORNLUANG, AYUTTHAYA 13260, THAILAND
広州丸順汽车配件有限公司	中華人民共和国広東省広州市 広州経済技術開発区永和経済区 永盛路8号
武漢丸順汽车配件有限公司	中華人民共和国湖北省武漢市 東湖新技術開発区光谷一路223号
インディアナ・マルジュン社	200 INKS DRIVE WINCHESTER, INDIANA 47394, U.S.A

### 〔主な出資会社〕

ベステックス・MM・インディア社	SPL-2B, TAPUKARA INDUSTRIAL AREA, KHUSHKHERA, DISTT. ALWAR, RAJASTHAN-301707, INDIA
------------------	---

# 株式の状況 (2012年3月31日現在)

## 株式数及び株主数

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	9,771,000株 (自己株式4,855株を含む)
株主数	709名

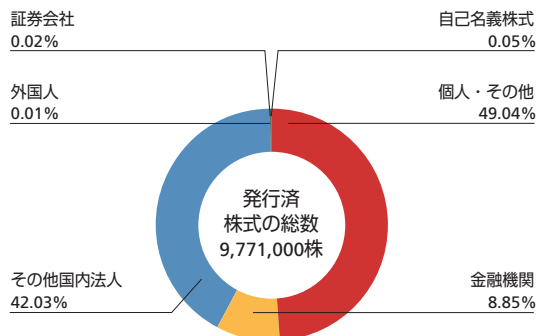
## 大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
本田技研工業株式会社	1,988,950	20.37
今川順夫	1,033,170	10.58
今川喜章	1,003,570	10.28
太平洋工業株式会社	463,950	4.75
名古屋中小企業投資育成株式会社	371,000	3.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	325,000	3.33
丸順従業員持株会	317,980	3.26
今村金属株式会社	308,300	3.16
株式会社大垣共立銀行	300,000	3.07
有限会社イマガワ	300,000	3.07

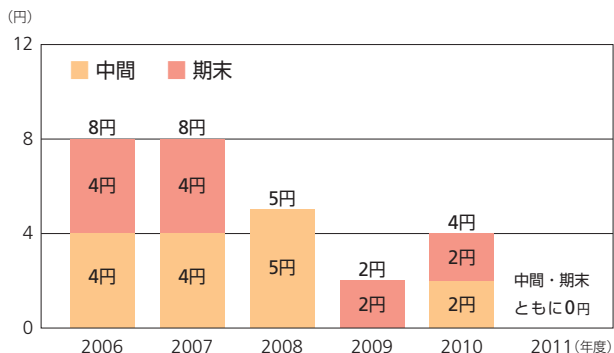
(注) 持株比率は、自己株式 (4,855株) を控除して計算しております。

## 株式分布状況

### ● 株式数構成比



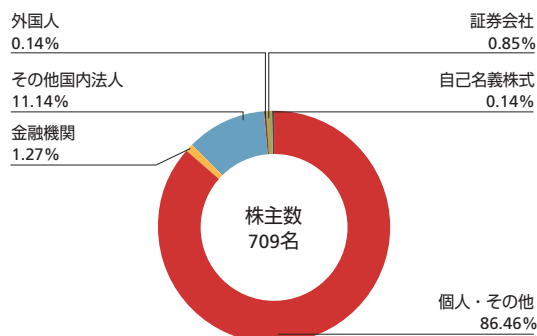
## 配当金の推移



当社グループの利益配分につきましては、株主の皆様に対する利益還元が経営の重要政策の一つであると考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った安定的・継続的な成果配分を行うことを基本方針としております。

当期におきましては、当社連結子会社のタイ・マルジュン社において洪水被害を受けるなど、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しく、業績動向、財政状態等が著しく悪化いたしました。このような理由により、誠に遺憾ながら、当期における年間配当金は無配とさせていただきます。

### ● 株主数構成比



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・ 期末配当 毎年3月31日
	中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

